

若者しごと倶楽部主催「求職支援セミナー」で 海運と船員の重要性を講演

神戸運輸監理部では、平成29年5月17日（水）、厚生労働省所管の「若者しごと倶楽部」が主催する求職支援セミナー（就活実践プログラム）に10名参加のもと、川路海事振興部長が海運と船員の重要性について講演を行いました。参加者からは、「初めて海運業界の話聞いた」、「大変興味深い内容であった」などの声が寄せられています。

国内の輸送を支える内航海運の船員数は、1994年の71,269人から2015年には27,490人と、21年の間に6割以上に減少しています。さらに、その年齢構成は50歳以上が約半数を占め、今後の安定的な国内輸送力を維持するには、若年船員の確保・育成が急務となっています。

このような中、当運輸監理部では、若年船員の確保を最重点課題としており、毎年、「若者しごと倶楽部」と連携して、就活している若者が、職業選択の一つに「海運」「船員」を加えてもらうよう取り組んでいます。

【参加者の主な感想】

- ・海運のことは、何も知らなかったので、大変興味深い内容でした。「船」にも様々な種類があることがわかり、勉強になりました。（男性、30歳）
- ・船員の仕事や船の仕組みなど、役立つ知識があっただけ良かったです。（男性、30歳）



配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 海事振興部 船員労政課
担当：西澤、岸本
電話：078-321-3149（直通）